

～同和問題について～

同和問題(部落差別)とは、ある特定の地域に生まれた、またはその地域に住んでいるという理由で差別する不合理な人権問題です。つまり、本人には何の責任もないことで不平等・不利益を強い、自由と平等を侵害するというものです。

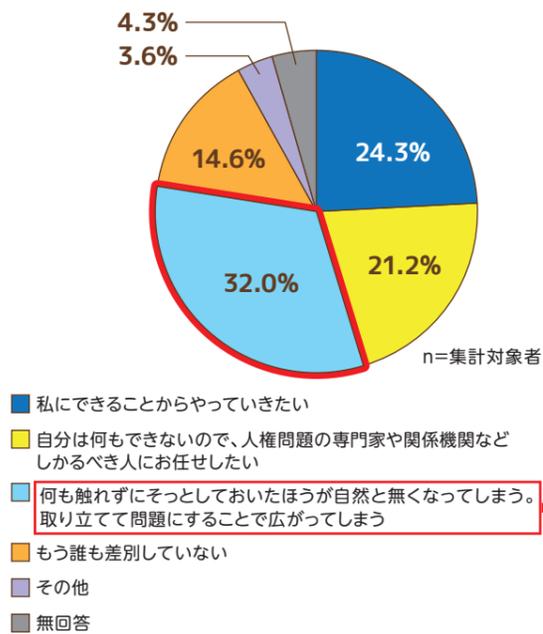


同和問題はもう昔の話ですよね？

そんなことはありません！！
令和元年7月に実施した市民意識調査結果を見てください

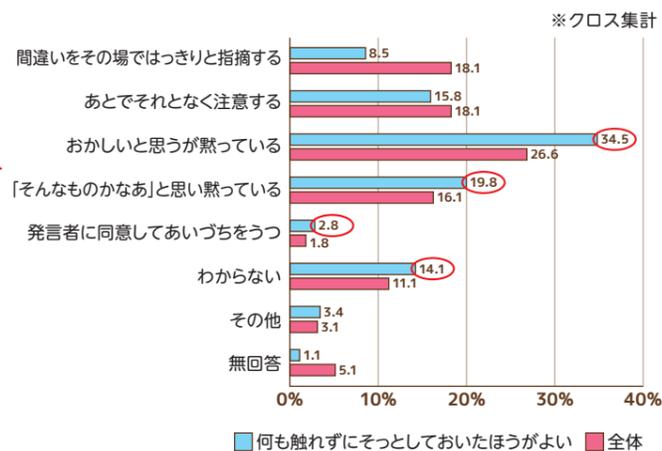


同和問題の解決に向けての思い(n=552)



「何も触れずにそっとしておいたほうがいい」という考えが、実際の差別にどう影響するかを調査するため、「差別的な発言の含まれたうわさ話に居合わせたときの対応」の回答とクロス集計を行いました。

「何も触れずに…」×差別的な発言への対応



差別的な発言への対応に関しては、「何も触れずにそっとしておいたほうがいい」と考える人のほうが、全体に比べて、間違いを指摘したり注意したりする行動をとらず、黙ったり、発言に同調したりする傾向にあることがわかりました。

これは、正しく知らないことから不安が生まれ、不安から差別や偏見につながっていくということではないでしょうか？

差別をなくすために大切なのは、繰り返し正しい知識を身につけるとともに、差別問題に出会った時に、間違いを指摘できる力を育成することです。

部落差別のない社会を実現するため、2016(平成28)年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。部落差別をなくすために何ができるのか、考えてみましょう。

私たちにできること

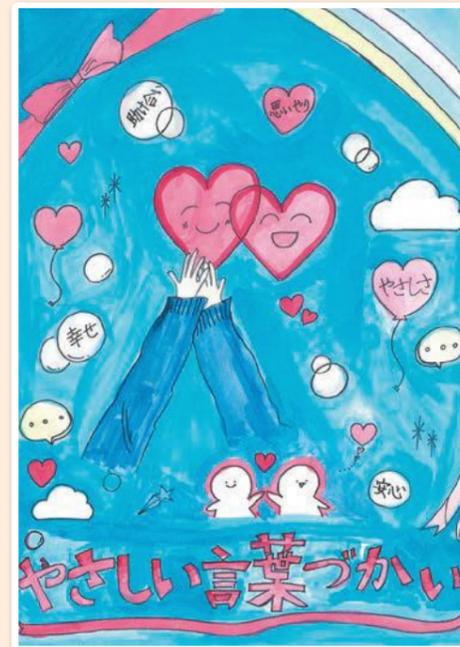
- インターネット上の不確かな情報等をうのみにしない、拡散しない
- 地域や職場の人権学習会に参加して、正しい知識を身につける
- 住民票などの不正請求をなくすために、「事前登録型本人通知制度」に登録する(市役所市民課)
- 差別を受けたり見かけたりしたら、相談する(大津地方法務局人権擁護課／(公財)滋賀県人権センター人権相談室)

つながり 2

「人権」

それはあなたを守るもの
空気のように当たり前にあるもの
身近すぎて気が付かないこともあるかも
ちょっとお話してみませんか

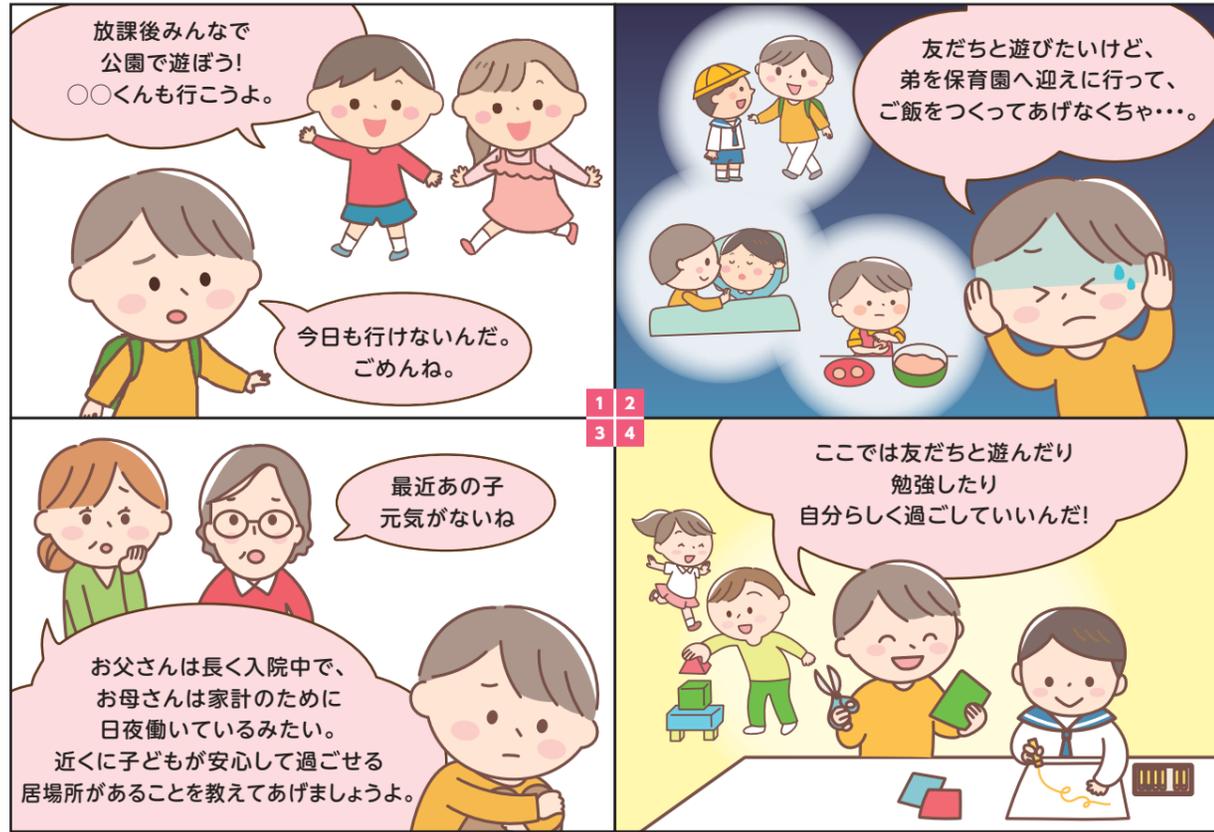
言葉
言葉ってふしぎだな
とがっていると きずつける まるい言葉は 仲良くなれる
冷たい言葉は かなしくなって あたたかい言葉は うれしくなれる
言葉って、とても大切な



【第32回ふれあいまり展 ポスターの部・詩の部 入賞作品】

自治会人権・同和問題学習会や研修会などでも、このリーフレットをご活用ください

～みんなで協力して地域の子どもを支えるために～



～いくつになっても自分らしく生きていくために～



考えてみよう・話してみよう

子どもやお年寄りなど、誰もがいきいきと暮らせる地域を作るためには、どんなことが大切だと思いますか？



ヤングケアラーってなに？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っているこどものことをいいます。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

まわりの人が気付き、声をかけ、手を差し伸べることで、ヤングケアラーが「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える、「こどもがこどもでいられる街」を、みんなでつくりたいと思いますか。
(こども家庭庁HPより引用)



人権政策課で貸し出し中

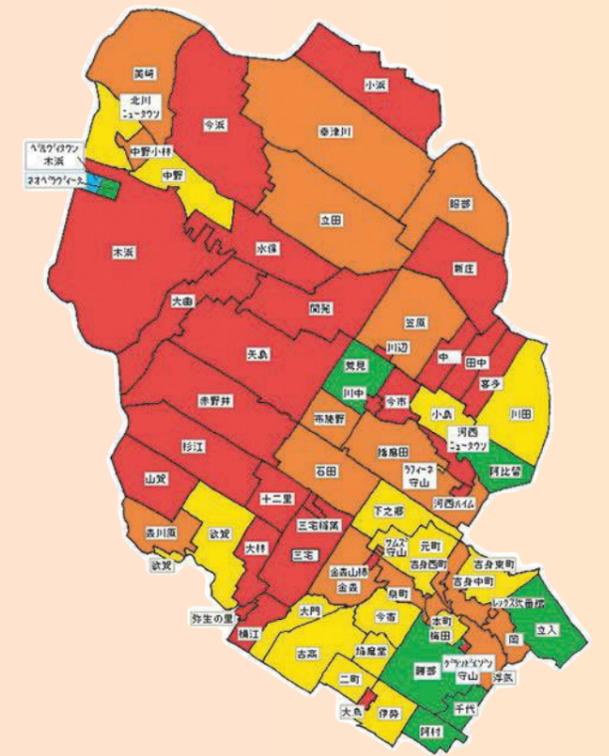
「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」をテーマに制作されたDVD教材です。ヤングケアラーの現状を学び、自分に何ができるのかを考えるきっかけとなります。

守山市の高齢化マップ

高齢化率の推移

	平成25年10月	平成30年10月	令和5年10月
日本	25.05%(概算値)	27.87%(概算値)	29.13%(概算値)
滋賀県	22.29%	25.42%	26.52%
守山市	18.69%	21.46%	22.36%

守山市の高齢化率は、日本や滋賀県の高齢化率を下回っていますが、自治会によっては高齢化率が31%を超えるところもあります。



凡例	自治会数
7%未満	1
7%以上 (高齢化社会)	7
14%以上 (高齢社会)	16
21%以上 (超高齢社会)	19
31%以上	28